

AnyWireASLINKSystem 製品説明書

アズリンクセンサ
ASLINKSENSOR [ASLINKセンサ]

B284SB-0□-1K□□P30

【安全上のご注意】

安全にお使いいただくため、次のような記号と表示で注意事項を示していますので必ず守ってください。

- 警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
- 注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容です。

警告

- システム安全性の考慮
本システムは、一般産業用であり安全確保を目的とする機器や事故防止システムなど、より高い安全性が要求される用途に対して適切な機能を持つものではありません。
- 設置や交換作業時は、必ずシステムの電源を切ってください。
- 出力ユニット、出力回路を含む混合ユニットにおいて、定格以上の負荷電流または負荷短絡などによる通過電流が長時間継続して流れた場合、発煙、発火の恐れがありますので、外部にヒューズなどの安全装置を設けてください。

注意

- システム電源
DC24V安定化電源を使ってください。安定化電源でない電源の使用はシステムの誤作動の原因となります。
- 高圧線、動力線との分離
AnyWireASLINKは高いノイズマージンを有していますが伝送ラインや出力ケーブルは高圧線や動力線と離して敷設ください。
- コネクタ接続、端子接続
・コネクタ、接続ケーブルにストレスが掛からないようまたストレスが加わった場合でも外れたりしないようケーブル長さ、ケーブル固定方法などに配慮してください。
・コネクタ内部、また端子台には金属くずなどが混入しないよう注意してください。
・金属くずによる短絡、誤配線は機器に損傷を与えます。
- 機器に外部からのストレスが加わる様な設置は避けてください。故障の原因となります。
- 伝送ラインが動作している時に、伝送ラインとスレーブユニットの接続を切断したり再接続したりしないでください。誤作動の原因となります。
- AnyWireASLINKは下記事項に定められた仕様や条件の範囲内で使用してください。

【保証について】

- 保証期間
納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後1箇年とします。
 - 保証範囲
上記保証期間中に、本取扱説明書にしたがった製品仕様範囲内の正常な使用状態で故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行ないます。
ただし、つぎに該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。
(1)需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。
(2)故障の原因が納入品以外の事由による場合。
(3)納入者以外の改造、または修理による場合。
(4)その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合。
- ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。
- 有償修理
保証期間後の調査、修理はすべて有償となります。
また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障修理故障原因調査は有償にてお受けいたします。

【型 式】

AnyWireASLINK 圧カ一体型センサ：アンプ内蔵タイプ

| | | | |
|-------------------|----------------------|------|-------------|
| B284SB-01-1KPP30 | 正圧 (0~1000kPa) | 入力1点 | 管接続口径 M5めねじ |
| B284SB-02-1KPP30 | | 入力2点 | |
| B284SB-01-1KNP30 | 負圧 (0~-100kPa) | 入力1点 | |
| B284SB-02-1KNP30 | | 入力2点 | |
| B284SB-01-1KLP30 | 連成圧 (-100~100kPa) | 入力1点 | |
| B284SB-02-1KLP30 | | 入力2点 | |
| B284SB-01-1KPLP30 | 低正圧 (0~100kPa) | 入力1点 | |
| B284SB-02-1KPLP30 | | 入力2点 | |

※パラメータ01（アラームビット）を有効にすると、このビット分が1点追加されます。

【機 能】

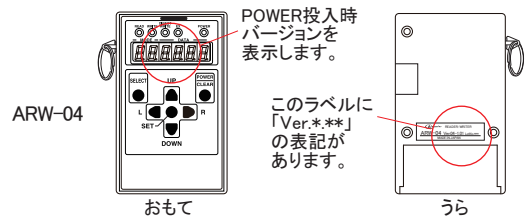
| | |
|------|-----------------------------------|
| 機 種 | ASLINKSENSOR 2線式(非絶縁) |
| 指示方式 | ゲージ圧 |
| 機 能 | アラームビット(設定にてビット追加) |
| | しきい値設定(上限、下限) |
| | 動作モード設定(ヒステリシスモード、ウインドウコンパレータモード) |
| | 入力論理選択 |
| | 入力応答時間設定 |
| | アラーム設定(上限、下限) |
| | アラーム判定時間設定 |
| ゼロ補正 | |

【パッケージ内容】

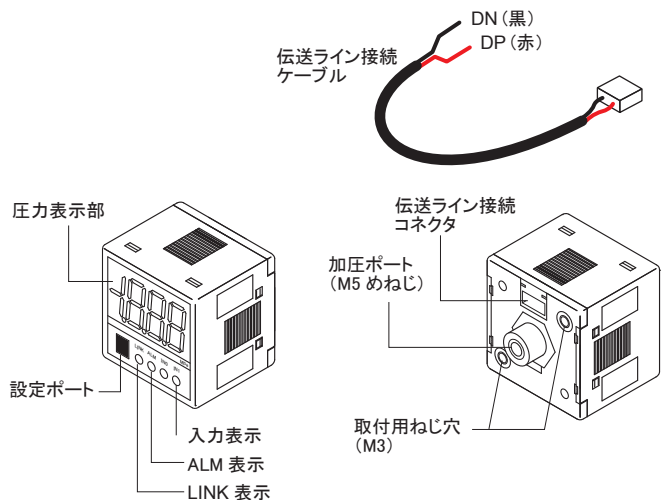
センサ本体・・・1
伝送ライン接続ケーブル・・・1
パネル取付用アダプタ・・・1

※取付金具が必要な場合は別途ご用意ください。

※本体への設定には「アドレスライタARW-04 (Ver.04-1.01以降)」が必要です。併せてご準備ください。



【各部の名称】

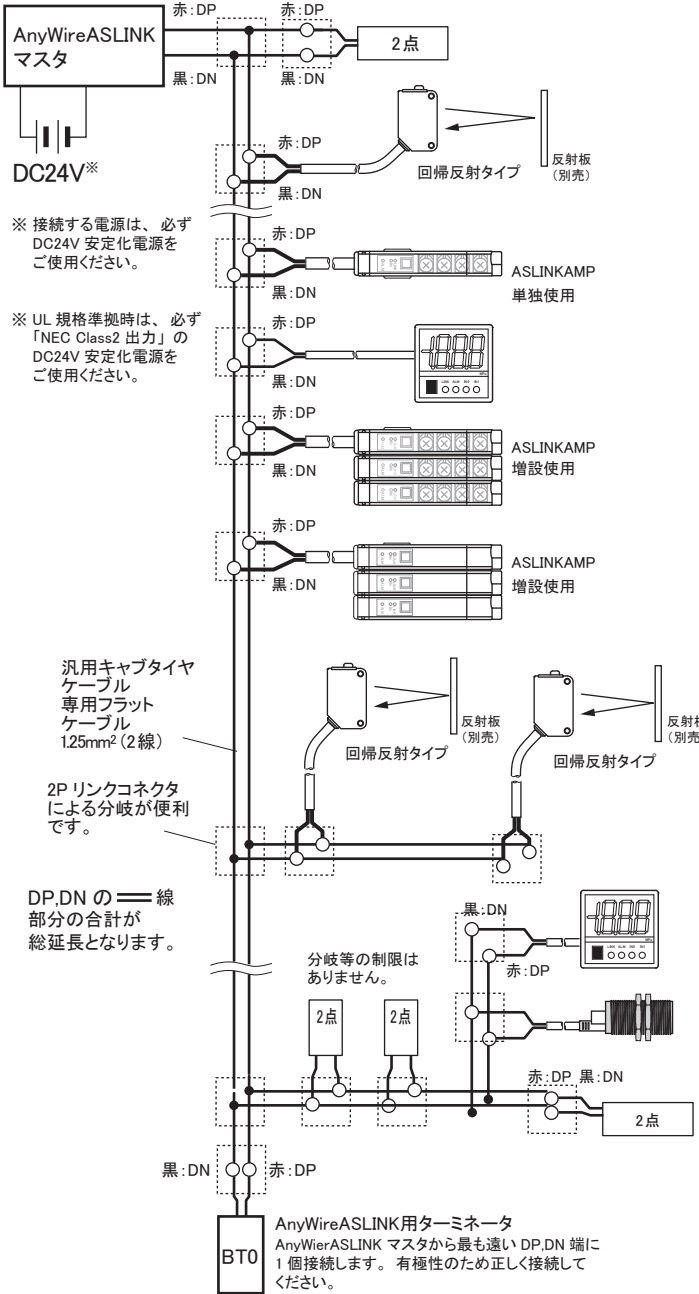


【AnyWireASLINKの接続方法】

AnyWireASLINKは、負荷電流に応じて2線式ターミナルと4線式ターミナルを選択できます。
 負荷電流が少ない場合、2線式（非絶縁）ターミナルを使用する事で、ローカル給電不要で簡便な配線が可能です。
 また、負荷が集中する箇所や接続台数を優先させる場合には、ローカル給電ができる4線式（絶縁）ターミナルとの混在も可能です。
 なお、外部電源を使った入力、負荷の駆動を行う場合は、必ず4線式（絶縁）ターミナルを使用してください。

【システム構成例】

■2線式（非絶縁）ターミナルのみでの接続

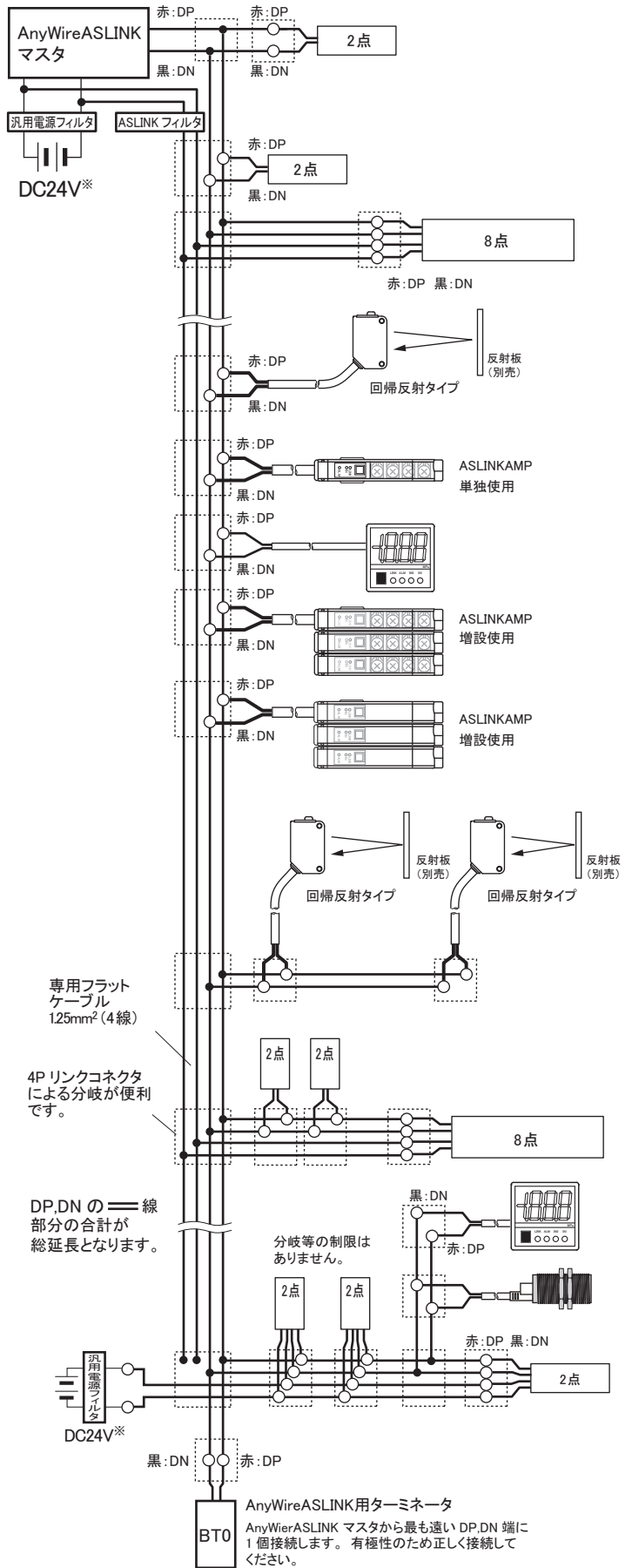


■伝送線の線径、距離と供給電流の関係（表1）

| 伝送線 (DP, DN) の線径 | 伝送線 (DP, DN) 供給電流値 | | |
|---------------------|--------------------|------------------|-------------------|
| | 総延長50m以下 | 総延長50mを超え~100m以下 | 総延長100mを超え~200m以下 |
| 1.25mm ² | MAX 2A | MAX 1A | MAX 0.5A |
| 0.75mm ² | MAX 1.2A | MAX 0.6A | MAX 0.3A |
| 0.5mm ² | MAX 0.8A | MAX 0.4A | MAX 0.2A |

- 注意** 伝送線線径、伝送距離と許容供給電流は、(表1)の内容を参照し適正な範囲で使用してください。
- AnyWireASLINKマスタのDP, DNと各機器のDP, DNを同じ記号どうし正しく接続します。
 - 分岐長、分岐数に制限はありません。
 - ターミナルに付属しているケーブル長も「総延長」に含めてください。
 - AnyWireASLINKマスタから一番遠い伝送線の端末にターミネータ「BT0（有極性）」を接続してください。

■2線式（非絶縁）、4線式（絶縁）ターミナルの混在例



- 注意** AnyWireASLINKで使用している電源とは別の電源で制御されている負荷（入出力ポート等）と接続する場合は、必ず4線式（絶縁）ターミナルを使用してください。誤動作の原因となります。

【4線式(絶縁)ターミナル併用時の注意点】

供給する電源系統において DP, DN, 24V, 0V 線の併走が総延長 50m を超える場合は、「ASLINK フィルタ [型式 ANF-01]」または「コーセル株式会社 [型式 EAC-06-472]」を併走が始まる位置の 24V, 0V に直列接続してください。

耐ノイズ性の向上、ならびに伝送信号によるクロストークの影響を抑え、信号の安定化を図ります。

マスタ用電源から一括給電する場合、ローカル電源から給電する場合いずれも挿入対象となります。

CE 規格に準拠する場合は、敷設方法、距離に係わらず「ASLINK フィルタ [型式 ANF-01]」を挿入してください。

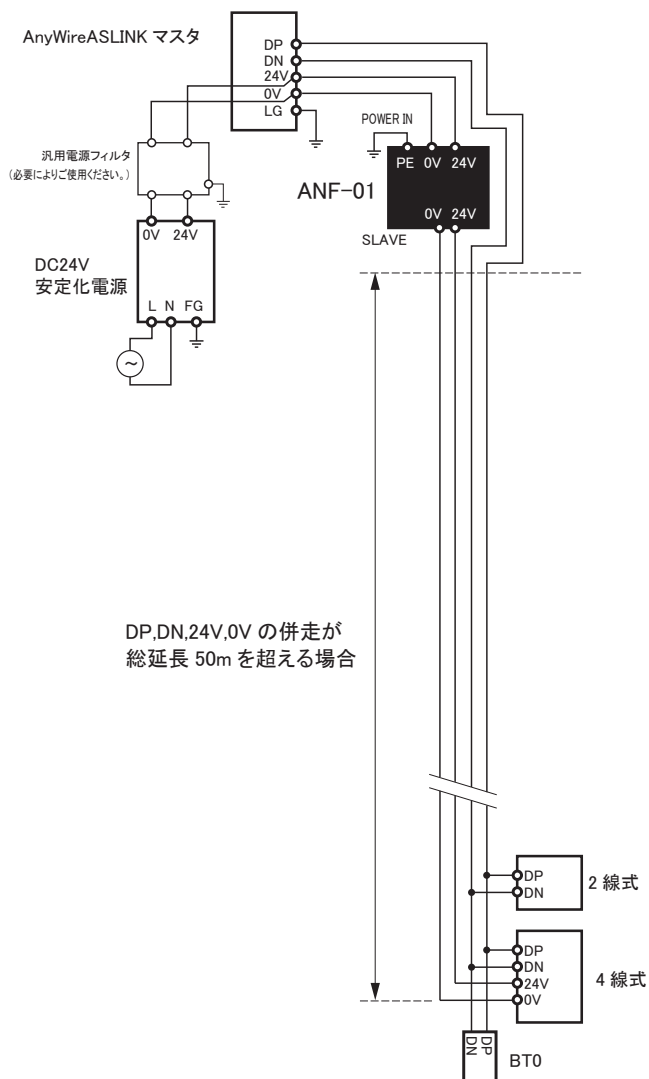
■フィルタ許容電流値

| 機種 | 型式 | 許容電流 |
|--------------|------------|-------------|
| ASLINK フィルタ | ANF-01 | 最大 5A/DC24V |
| コーセル株式会社フィルタ | EAC-06-472 | 最大 6A/DC24V |

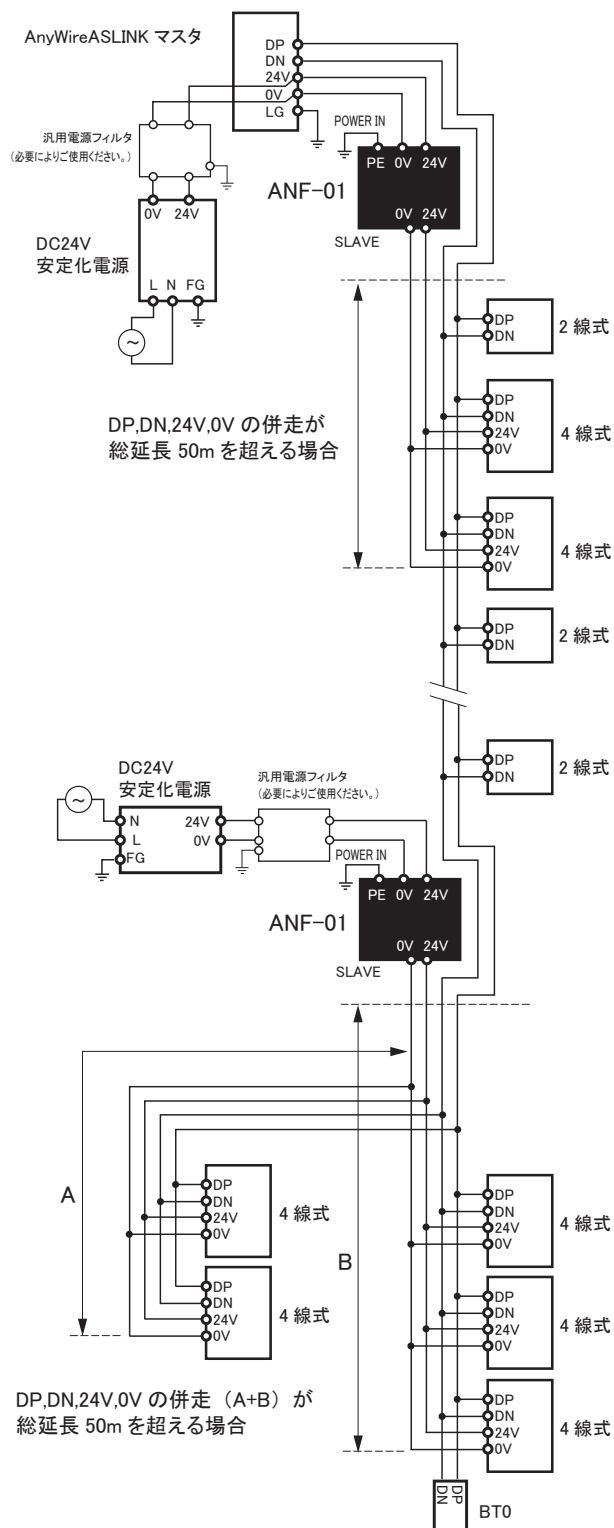
■エニワイヤ 型式 : ANF-01 接続例

(図は説明用の結線図です。実際の端子配列は各機器に合わせてください)

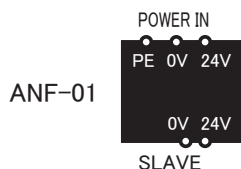
①一括給電



②ローカル給電・分岐



■図中のフィルタ表記

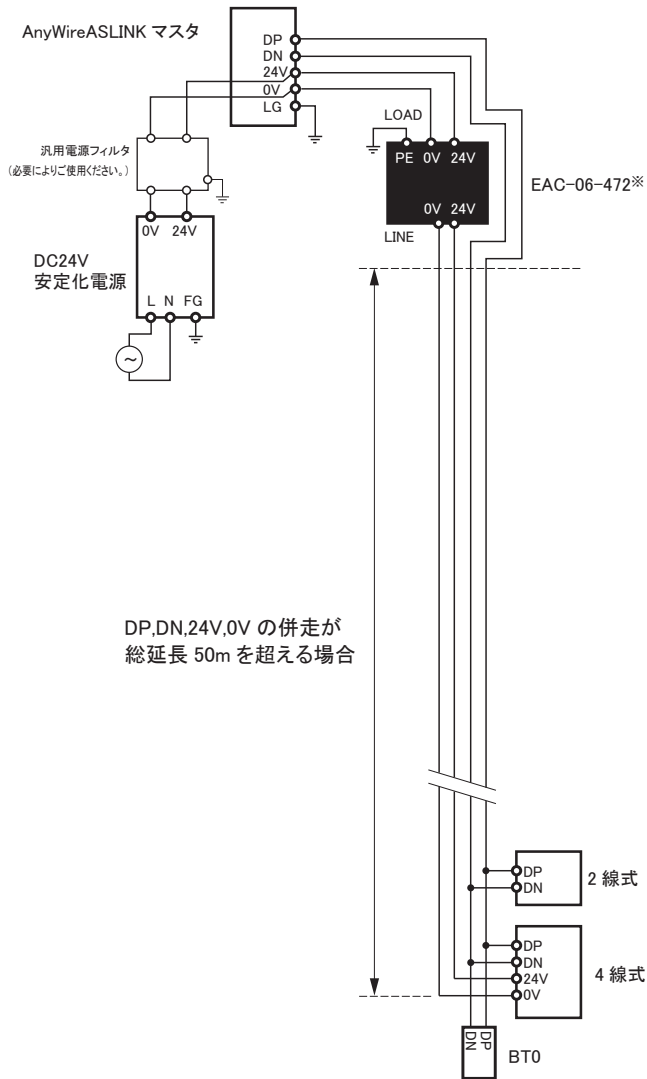


ANF-01 の詳細は ANF-01 製品説明書をご覧ください。

■コーセル株式会社 型式：EAC-06-472 接続例

(図は説明用の結線図です。実際の端子配列は各機器に合わせてください)

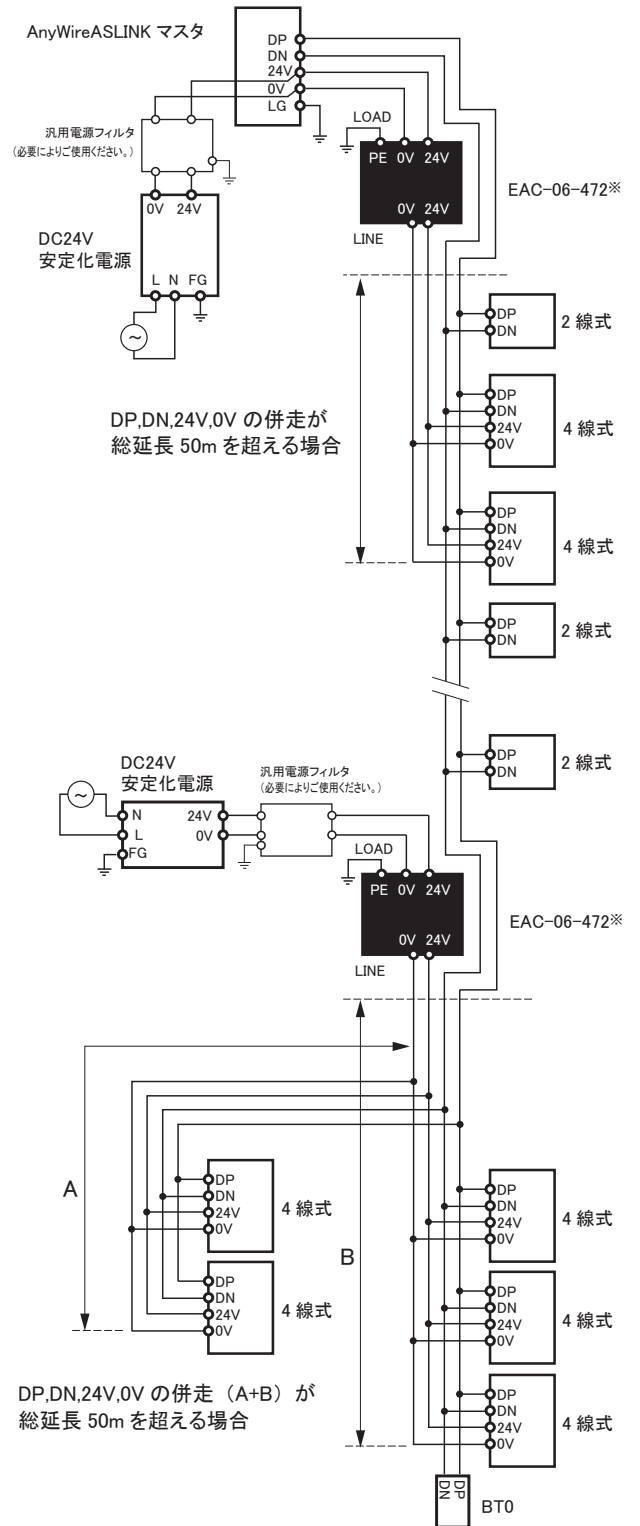
①一括給電



DP, DN, 24V, 0V の併走が
総延長 50m を超える場合

※このフィルタを使用する場合は、
LOAD、LINE の位置にご注意ください。

②ローカル給電・分岐

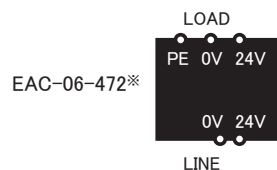


DP, DN, 24V, 0V の併走が
総延長 50m を超える場合

DP, DN, 24V, 0V の併走 (A+B) が
総延長 50m を超える場合

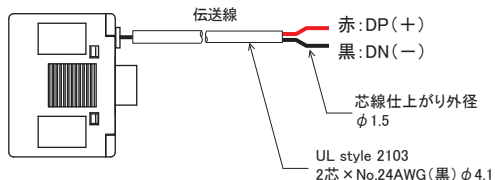
※このフィルタを使用する場合は、
LOAD、LINE の位置にご注意ください。

■図中のフィルタ表記



【接続方法】

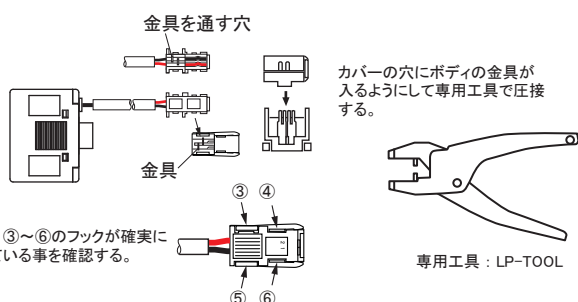
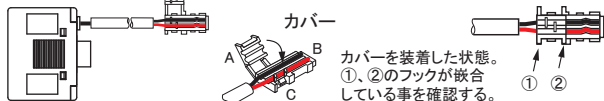
親機本体に付属の伝送線をマスタからの伝送線と接続します。
+/-の極性は正しく接続してください。



■ 伝送線端にLPコネクタを装着する例

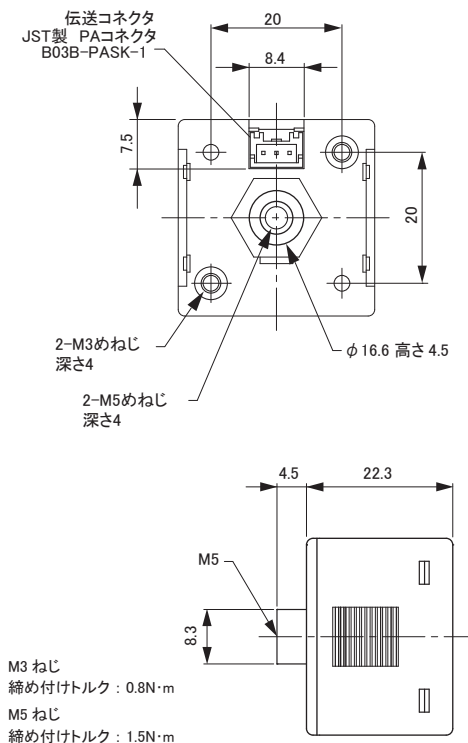
適応LPコネクタ: LP2-PWH+10P

カバーのヒンジ側が黒線(DN)となるように線を溝に入れ、AをB側に折り込みフックCを掛けて固定します。



【取付例】

取付は、付属のパネルマウント用ホルダを使用するか、圧力センサ本体の取付ねじ穴を使用してください。
取付金具を使用される場合は、別途お問い合わせください。



本体を固定する時は、ケーブル、接続コネクタ等にストレスが掛からないように余裕を持たせてください。
ねじは締め過ぎないでください。故障の原因となります。

【設置場所について】

- ・振動や衝撃が直接本体に伝わらない場所
- ・粉塵に直接晒されない場所
- ・金属屑、スパッタ等導体が直接本体にかからない場所
- ・結露しない場所
- ・腐食性ガス、可燃性ガス、硫黄を含む雰囲気のない場所
- ・高電圧、大電流のケーブルより離れた場所
- ・サーボ、インバータ等高周波ノイズを発生するケーブルコントローラより離れた場所

【使用上の注意】

- ・このターミナルはAnyWireASLINK伝送線に接続して使用するものです。シーケンサのI/Oカード等に直接接続しても動作しません。
- ・適正な電圧の範囲でご使用ください。
- ・本体付属の伝送線も総延長に含めてください。
- ・アドレスは、伝送点数の範囲内に割付ように設定してください。伝送点数を超えると検出動作しません。
- ・配管内に残っているゴミなどをエアブローで除去してからこのターミナルに配管してください。
- ・流体内に異物混入の恐れがある場合は、流入側(元圧側)にフィルタやミストセパレータを設置・配管してください。

【各種設定】

■ 項目

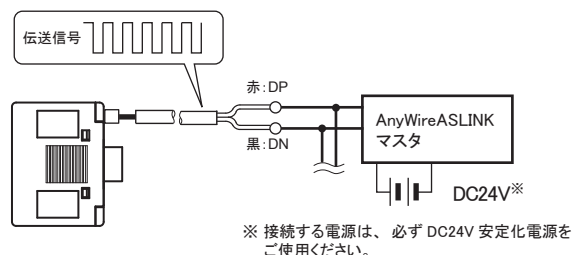
アドレス番号設定

パラメータ設定

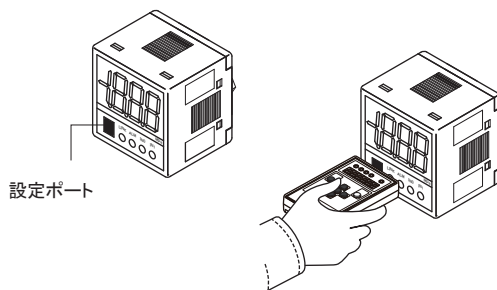
■ アドレスライター操作の共通手順

必ず AnyWireASLINK マスタユニットに接続して使用してください。
設定には アドレスライター ARW-04 (Ver.04-1.01 以降) が必要です。
操作方法の詳細は、アドレスライターの製品説明書をご覧ください。

1. ターミナルを AnyWireASLINK マスタユニットに接続します。
伝送信号 (DP, DN) を供給した状態でアドレスライターにて設定を行ってください。



2. 設定は、全ての AnyWireASLINK 機器に対し必要です。
本体の設定ポートにアドレスライターを向けて設定します。
(設定ポートに投受光部をできるだけ近づけてください)



アドレス番号設定

アドレス番号は、そのターミナルへ伝送フレームの何番目から占有させるかの先頭番号を設定するものです。
"0 ~ 254" の範囲でアドレス番号を設定します。



ターミナル出荷時は、非設定を示すアドレス番号「255」を設定しています。
またアドレス番号設定値が「255」の場合、ターミナルは、入出力動作を行いません。
必ずアドレス番号設定値を「0~254」の範囲内に設定してから使用してください。

パラメータ設定

■アラームビット選択設定

有効にすると入力占有点数が1点増え、アラーム（ALM）表示点灯時、このビットがONシコントローラへ通知します。

・アドレスライタ（ARW-04）：パラメータ 01

| 設定値 | |
|-------|-----------------|
| デフォルト | 0 (アラームビット無効) |
| | 100 (アラームビット有効) |

〔無効時〕

| タイプ | オフセットアドレス | |
|---------|-----------|-----|
| | n | n+1 |
| 入力1点タイプ | 入力 | |
| 入力2点タイプ | 入力1 | 入力2 |

〔有効時〕

| タイプ | オフセットアドレス | | |
|---------|-----------|------|------|
| | n | n+1 | n+2 |
| 入力1点タイプ | 入力 | アラーム | |
| 入力2点タイプ | 入力1 | 入力2 | アラーム |

■入力1上限値設定

検知する圧力の上限値を設定（入力1,2点タイプ共通）
ヒステリシス、ウィンドウコンパレータモード共通→パラメータ08参照

・アドレスライタ（ARW-04）：パラメータ 02

■B284SB-01-1KPP30、B284SB-02-1KPP30

| 設定値（単位 1kPa） | |
|--------------|--------|
| デフォルト | 600 |
| レンジ | 0~1000 |

■B284SB-01-1KNP30、B284SB-02-1KNP30

| 設定値（単位 -0.1kPa） | |
|-----------------|--------|
| デフォルト | 600 |
| レンジ | 0~1000 |

■B284SB-01-1KLP30、B284SB-02-1KLP30

| 設定値（単位 0.2kPa） | |
|----------------|----------------------|
| デフォルト | 600 |
| レンジ | 0~1000 (0 = -100kPa) |

■B284SB-01-1KPLP30、B284SB-02-1KPLP30

| 設定値（単位 0.1kPa） | |
|----------------|--------|
| デフォルト | 600 |
| レンジ | 0~1000 |

■入力1下限値設定

検知する圧力の下限値を設定（入力1,2点タイプ共通）
ヒステリシス、ウィンドウコンパレータモード共通→パラメータ08参照

・アドレスライタ（ARW-04）：パラメータ 03

■B284SB-01-1KPP30、B284SB-02-1KPP30

| 設定値（単位 1kPa） | |
|--------------|--------|
| デフォルト | 400 |
| レンジ | 0~1000 |

■B284SB-01-1KNP30、B284SB-02-1KNP30

| 設定値（単位 -0.1kPa） | |
|-----------------|--------|
| デフォルト | 400 |
| レンジ | 0~1000 |

■B284SB-01-1KLP30、B284SB-02-1KLP30

| 設定値（単位 0.2kPa） | |
|----------------|----------------------|
| デフォルト | 400 |
| レンジ | 0~1000 (0 = -100kPa) |

■B284SB-01-1KPLP30、B284SB-02-1KPLP30

| 設定値（単位 0.1kPa） | |
|----------------|--------|
| デフォルト | 400 |
| レンジ | 0~1000 |

※入力1 上限値を上回るような値は設定できません。

■入力2上限値設定

検知する圧力の上限値を設定（入力2点タイプのみ）
ヒステリシス、ウィンドウコンパレータモード共通→パラメータ08参照

・アドレスライタ（ARW-04）：パラメータ 04

■B284SB-02-1KPP30

| 設定値（単位 1kPa） | |
|--------------|--------|
| デフォルト | 600 |
| レンジ | 0~1000 |

■B284SB-02-1KNP30

| 設定値（単位 -0.1kPa） | |
|-----------------|--------|
| デフォルト | 600 |
| レンジ | 0~1000 |

■B284SB-02-1KLP30

| 設定値（単位 0.2kPa） | |
|----------------|----------------------|
| デフォルト | 600 |
| レンジ | 0~1000 (0 = -100kPa) |

■B284SB-02-1KPLP30

| 設定値（単位 0.1kPa） | |
|----------------|--------|
| デフォルト | 600 |
| レンジ | 0~1000 |

■入力2下限値設定

検知する圧力の下限値を設定（入力2点タイプのみ）
ヒステリシス、ウィンドウコンパレータモード共通→パラメータ08参照

・アドレスライタ（ARW-04）：パラメータ 05

■B284SB-02-1KPP30

| 設定値（単位 1kPa） | |
|--------------|--------|
| デフォルト | 400 |
| レンジ | 0~1000 |

■B284SB-02-1KNP30

| 設定値（単位 -0.1kPa） | |
|-----------------|--------|
| デフォルト | 400 |
| レンジ | 0~1000 |

■B284SB-02-1KLP30

| 設定値（単位 0.2kPa） | |
|----------------|----------------------|
| デフォルト | 400 |
| レンジ | 0~1000 (0 = -100kPa) |

■B284SB-02-1KPLP30

| 設定値（単位 0.1kPa） | |
|----------------|--------|
| デフォルト | 400 |
| レンジ | 0~1000 |

※入力2 上限値を上回るような値は設定できません。

■動作モード選択

入力1、入力2のヒステリシスモード、ウィンドウコンパレータモードを設定

・アドレスライタ（ARW-04）：パラメータ 08

■B284SB-01-1KPP30、B284SB-01-1KNP30、B284SB-01-1KLP30、B284SB-01-1KPLP30

| 変数値 | 内容 |
|----------|----------------|
| 0(デフォルト) | ヒステリシスモード |
| 1 | ウィンドウコンパレータモード |

■B284SB-02-1KPP30、B284SB-02-1KNP30、B284SB-02-1KLP30、B284SB-02-1KPLP30

| 変数値 | 内容 |
|----------|---------------------------------------|
| 0(デフォルト) | 入力1:ヒステリシスモード、入力2:ヒステリシスモード |
| 1 | 入力1:ウィンドウコンパレータモード、入力2:ヒステリシスモード |
| 2 | 入力1:ヒステリシスモード、入力2:ウィンドウコンパレータモード |
| 3 | 入力1:ウィンドウコンパレータモード、入力2:ウィンドウコンパレータモード |

■入力論理選択

入力 1、入力 2 の検出論理を設定

・アドレスライタ (ARW-04) : パラメータ 09

■B284SB-01-1KPP30、B284SB-01-1KNP30、B284SB-01-1KLP30、B284SB-01-1KPLP30

| 変数値 | 内容 |
|----------|--|
| 0(デフォルト) | ヒステリシスモード 正論理(センサ値>上限値→ON) 入力下限値(パラメータ03)によりヒステリシスを持つ ウインドウコンパレータモード 正論理(上限値>センサ値>下限値→ON) |
| 1 | ヒステリシスモード 負論理(センサ値<上限値→ON) 入力下限値(パラメータ03)によりヒステリシスを持つ ウインドウコンパレータモード 負論理(センサ値>上限値、下限値>センサ値→ON) |

■B284SB-02-1KPP30、B284SB-02-1KNP30、B284SB-02-1KLP30、B284SB-02-1KPLP30

| 変数値 | 内容 |
|----------|---|
| 0(デフォルト) | ヒステリシスモード 入力1、2共に正論理(センサ値>上限値→ON) ※入力下限値(パラメータ03)によりヒステリシスを持つ ウインドウコンパレータモード 入力1、2共に正論理(上限値>センサ値>下限値→ON) |
| 1 | ヒステリシスモード 入力1 負論理(センサ値<上限値→ON) 入力2 正論理(センサ値>上限値→ON) ※入力下限値(パラメータ03)によりヒステリシスを持つ ウインドウコンパレータモード 入力1 負論理(センサ値>上限値、下限値>センサ値→ON) 入力2 正論理(上限値>センサ値>下限値→ON) |
| 2 | ヒステリシスモード 入力1 正論理(センサ値>上限値→ON) 入力2 負論理(センサ値<上限値→ON) ※入力下限値(パラメータ03)によりヒステリシスを持つ ウインドウコンパレータモード 入力1 正論理(センサ値>上限値、下限値>センサ値→ON) 入力2 負論理(上限値>センサ値>下限値→ON) |
| 3 | ヒステリシスモード 入力1、2共に負論理(センサ値<上限値→ON) ※入力下限値(パラメータ03)によりヒステリシスを持つ ウインドウコンパレータモード 入力1、2共に負論理(センサ値>上限値、下限値>センサ値→ON) |

■入力応答時間選択

上限 / 下限値に対する入力の ON 又は OFF までの時間を設定
(設定時間は ON、OFF とともに共通です)

・アドレスライタ (ARW-04) : パラメータ 10

| 設定値 (単位 10ms) |
|---------------|
| デフォルト 1 |
| レンジ 0~255 |

■アラーム監視時間設定

アラーム判定の監視時間を設定

・アドレスライタ (ARW-04) : パラメータ 11

| 設定値 (単位 100ms) |
|----------------|
| デフォルト 50 |
| レンジ 3~255 |

■アラーム上限値設定

アラーム判定値の上限を設定

・アドレスライタ (ARW-04) : パラメータ 12

| 設定値 (単位 1kPa、-0.1kPa、0.2kPa、0.1kPa) |
|---|
| デフォルト 1000(設定が1000の場合は、アラーム判定動作は行われません) |
| レンジ 0~1000 |

■アラーム下限値設定

アラーム判定値の下限を設定

・アドレスライタ (ARW-04) : パラメータ 14

| 設定値 (単位 1kPa、-0.1kPa、0.2kPa、0.1kPa) |
|-------------------------------------|
| デフォルト 0(設定が0の場合は、アラーム判定動作は行われません) |
| レンジ 0~1000 |

■ゼロ補正指令

ゼロ補正の実行指令

・アドレスライタ (ARW-04) : パラメータ 15

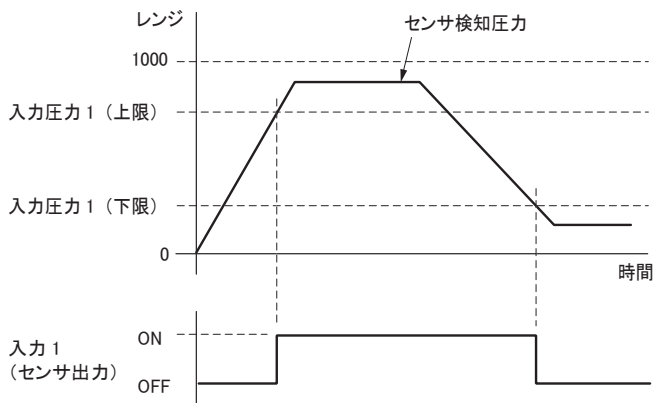
| 変数値 | 内容 |
|----------|----------------------------------|
| 0(デフォルト) | 使用時 |
| 1 | ゼロ補正実行(正常に実行された後は、変数値を0に戻してください) |

ゼロ補正は、圧力開放状態で行ってください。
0kPa±2.5%(定格圧力)の範囲内では、ゼロ補正動作は行われません。

【動作例】

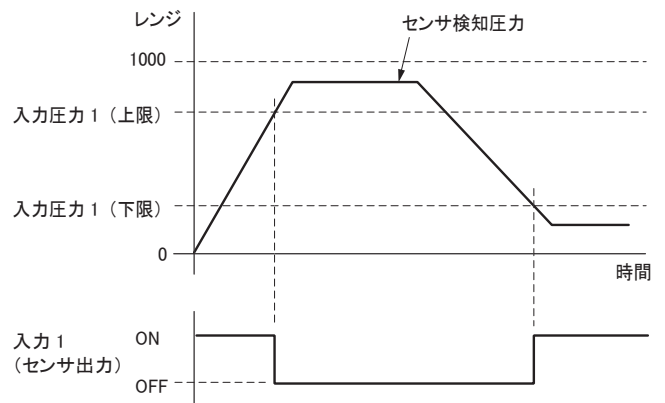
■入力1点タイプ

ヒステリシスモード (パラメータ 08 : 0)
正論理 (パラメータ 09 : 0)



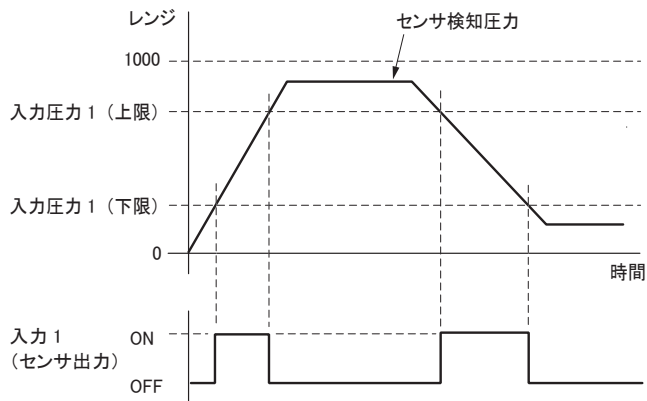
■入力1点タイプ

ヒステリシスモード (パラメータ 08 : 0)
負論理 (パラメータ 09 : 1)



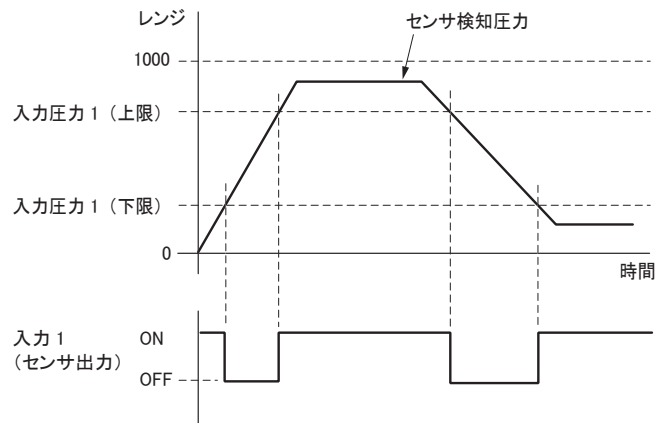
■入力1点タイプ

ウィンドウコンパレータモード (パラメータ 08 : 1)
正論理 (パラメータ 09 : 0)



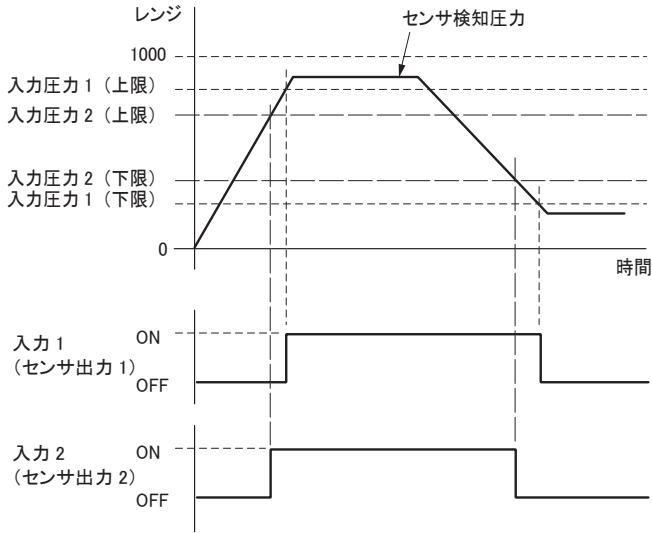
■入力1点タイプ

ウィンドウコンパレータモード (パラメータ 08 : 0)
負論理 (パラメータ 09 : 1)



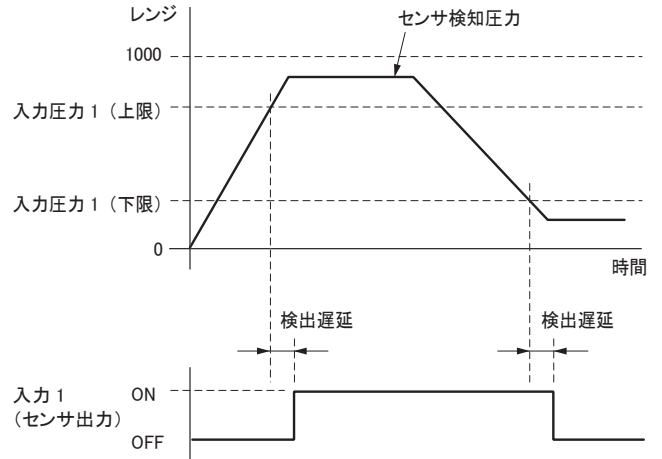
■入力 2 点タイプ

入力 1、入力 2 共通
 ヒステリシスモード (パラメータ 08 : 0)
 正論理 (パラメータ 09 : 0)



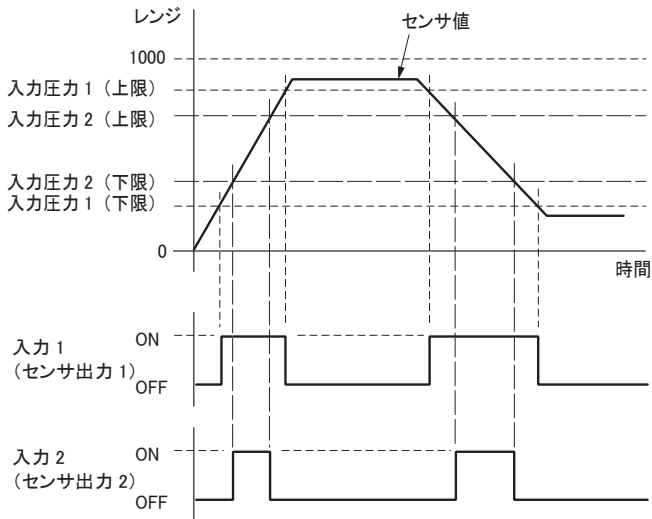
■入力 1 点タイプ

ヒステリシスモード (パラメータ 08 : 0)
 正論理 (パラメータ 09 : 0)
 検出遅延 (パラメータ 10 : 0 ~ 255)



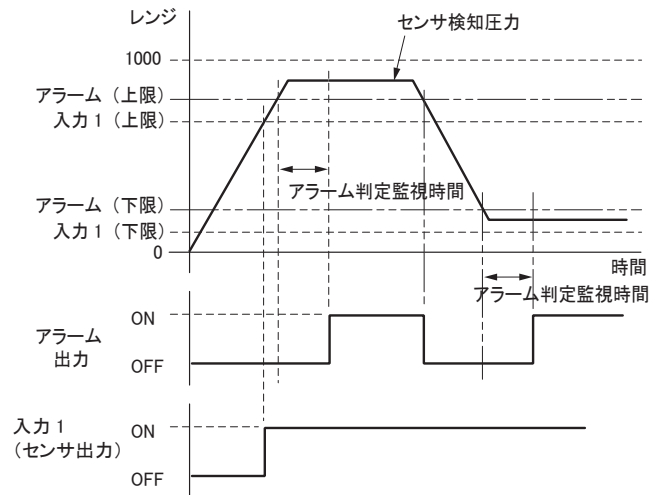
■入力 2 点タイプ

入力 1、入力 2 共通
 ウィンドウコンパレータモード (パラメータ 08 : 1)
 正論理 (パラメータ 09 : 0)



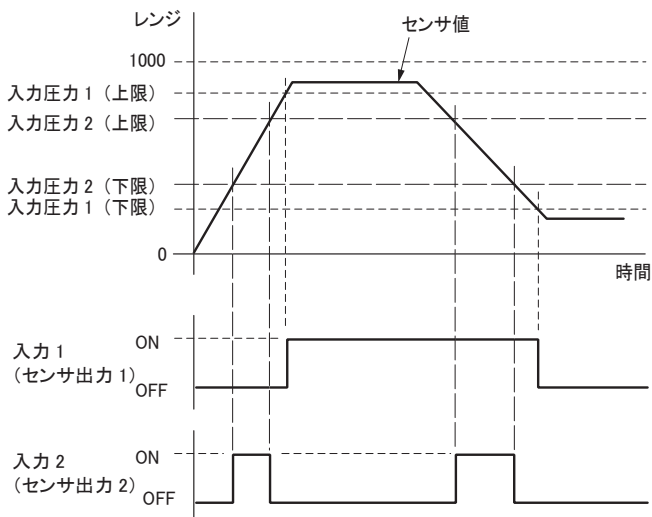
■入力 1 点タイプ

ヒステリシスモード (パラメータ 08 : 0)
 正論理 (パラメータ 09 : 0)
 アラーム上限 (パラメータ 12 : 0 ~ 1000)
 アラーム下限 (パラメータ 12 : 0 ~ 1000)



■入力 2 点タイプ

入力 1 ヒステリシスモード (パラメータ 08 : 0)
 正論理 (パラメータ 09 : 0)
 入力 2 ウィンドウコンパレータモード (パラメータ 08 : 1)
 正論理 (パラメータ 09 : 0)



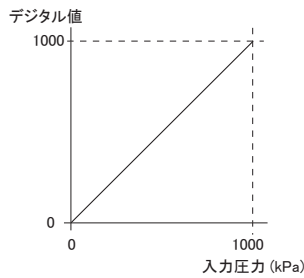
【入力圧力値の読み出し】

AnyWireASLINK マスタユニットのバッファメモリ「パラメータ格納エリア (センシングレベル)」※1 には、このセンサの入力圧に対するデジタル値 (A/D 変換値) が格納されます。

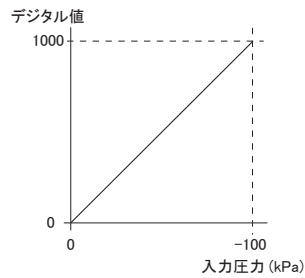
※1：下記マスタユニットが対応します。
各マスタユニットのユーザーズマニュアルも併せてお読みください。

- ・ QJ51AW12AL
- ・ LJ51AW12AL
- ・ FX3U-128ASL-M

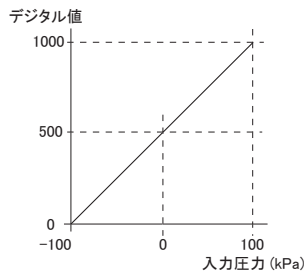
■ B284SB-01-1KPP30, B284SB-02-1KPP30



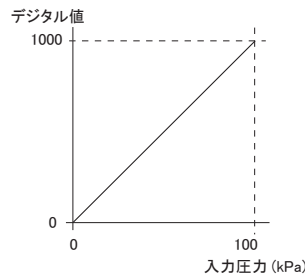
■ B284SB-01-1KNP30, B284SB-02-1KNP30



■ B284SB-01-1KLP30, B284SB-02-1KLP30



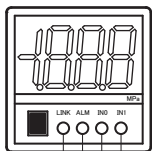
■ B284SB-01-1KPLP30, B284SB-02-1KPLP30



【モニタ表示】

ユニットの動作状態を LED で表示します。

| 表示名 | 表示区分 | 内容 |
|----------|-----------|--|
| LINK (緑) | 電源 / 伝送表示 | 伝送信号を受信した時点滅します。 |
| INO (橙) | 入力表示 | B284SB-01-1K□P30 入力表示 B284SB-02-1K□P30 入力表示 |
| IN1 (橙) | 入力表示 | B284SB-02-1K□P30 入力表示 |
| ALM (赤) | ユニット障害表示 | ユニットの障害状態を表示します。 |



- 入力表示 (2点タイプのみ)
- 入力表示
- ALM 表示
- LINK 表示

【トラブルシューティング】

・ 本体の表示窓で以下のエラー表示がされた場合は、次のように対処してください。

| LINK | IN | ALM | 原因 | 処置 |
|---------------|------|----------------------|--|--|
| ○ 消灯 | ○ 消灯 | ○ 消灯 | ・ ASLINKSENSORに AnyWireASLINK が接続されていない。 ・ AnyWireASLINK システム自体の電源が入っていない。 | ・ ASLINKSENSORと AnyWireASLINK システム間が断線していないか確認し、接続を修復してください。 ・ AnyWireASLINK システムの電源状況を確認し、電源を投入してください。 |
| ● 点灯 | ○ 消灯 | ○ 消灯 | ・ 直接 24-0V 電源に接続されています。 | ・ AnyWireASLINK システムへ接続しなおしてください。 |
| ◎ 点滅 (0.5秒交互) | ○ 消灯 | ◎ 点滅 (0.5秒交互) | ・ ASLINKSENSORがアドレス 255 (出荷時設定) のままになっています。 ・ ASLINKSENSORが別のターミナルとアドレス重複しています。 | ・ 255 以外のアドレスを設定してください。 ・ 他に同じエラー表示になっているターミナルを探して、それと異なるアドレスを設定してください。 |
| — | — | ◎ 点滅 (0.2秒点灯 1.0秒消灯) | ・ ASLINKSENSORの内部電源電圧が低下しています。 | ・ 同じ AnyWireASLINK システムに接続されているターミナルの数を減らしてください。 ・ ASLINKSENSORとマスタユニット間の伝送線を短くしてください。 |
| ◎ 点滅 | — | ● 点灯 | ・ センシングレベルが低下しています。 | ・ ASLINKSENSORの状態を確認し、位置調整、検出面の清掃等をしてください。 |

・ ARW-04 で以下のエラー表示がされた場合は、次のように対処してください。

| 表示 | 原因 | 対処 |
|----------|--------------|----------------------------------|
| [E-0303] | 設定パラメータが不正です | パラメータ対応表を確認の上、正しいパラメータを設定してください。 |

・ 以下のような場合は次のように対処してください。

| 症状 | 対処 |
|-----------------|--|
| 検出ができない | <ul style="list-style-type: none"> ・ 配線は正しいですか？ → ASLINKSENSOR 伝送線が AnyWireASLINK の伝送ライン (DP, DN) に正しく接続されている事を確認してください。 ・ AnyWireASLINK マスタユニット及びスレーブユニットに適切な容量の電源は投入されていますか？ → 定格の検出範囲内で使用していますか？ → 定格の範囲内で使用してください。 ・ 設定アドレスが伝送点数を超えていませんか？ → 伝送点数の範囲内に収まる様設定してください。 |
| ARW-04 で設定ができない | <ul style="list-style-type: none"> ・ 配線は正しいですか？ → ASLINKSENSOR 伝送線の接続を再確認してください。 ・ AnyWireASLINK システムに電源は投入されていますか？ → 電源を確認してください。 ・ 設定パラメータは正しいですか？ → パラメータ対応表を確認の上、正しいパラメータを設定してください。 |

【パラメータと項目】

| パラメータ | 変数 | 内容 | 出荷時変数 |
|------------------------------|--------|--|-------|
| [01.] アラームビット | 0~100 | 検出判定の受光レベル値を設定 | 0 |
| [02.] 入力1上限値 | 0~1000 | 検知する圧力の上限値を設定 | 600 |
| [03.] 入力1下限値 | 0~1000 | 検知する圧力の下限値を設定 | 400 |
| [04.] 入力2上限値 B284SB-02 | 0~1000 | 検知する圧力の上限値を設定 | 600 |
| [05.] 入力2下限値 B284SB-02 | 0~1000 | 検知する圧力の下限値を設定 | 400 |
| [08.] 動作モード B284SB-01 | 0 | ヒステリシスモード | 0 |
| | 1 | ウィンドウコンパレータモード | |
| [08.] 動作モード B284SB-02 | 0 | 入力1:ヒステリシスモード、入力2:ヒステリシスモード | |
| | 1 | 入力1:ウィンドウコンパレータモード、入力2:ヒステリシスモード | |
| | 2 | 入力1:ヒステリシスモード、入力2:ウィンドウコンパレータモード | 0 |
| | 3 | 入力1:ウィンドウコンパレータモード、入力2:ウィンドウコンパレータモード | |
| [09.] 入力論理 B284SB-01 | 0 | ヒステリシスモード : 正論理 ウィンドウコンパレータモード: 正論理 | |
| | 1 | ヒステリシスモード : 負論理 ウィンドウコンパレータモード: 負論理 | 0 |
| [09.] 入力論理 B284SB-02 | 0 | ヒステリシスモード : 正論理 ウィンドウコンパレータモード: 正論理 | |
| | 1 | ヒステリシスモード/入力1: 負論理 ヒステリシスモード/入力2: 正論理 ウィンドウコンパレータモード/入力1: 負論理 ウィンドウコンパレータモード/入力2: 正論理 | |
| | 2 | ヒステリシスモード/入力1: 正論理 ヒステリシスモード/入力2: 負論理 ウィンドウコンパレータモード/入力1: 正論理 ウィンドウコンパレータモード/入力2: 負論理 | |
| | 3 | ヒステリシスモード : 負論理 ウィンドウコンパレータモード: 負論理 | |
| [10.] 入力応答時間 | 0~255 | ONまたはOFFまでの時間を設定 | 1 |
| [11.] アラーム監視時間 | 3~255 | アラーム判定の監視時間を設定 | 50 |
| [12.] アラーム上限値 | 0~1000 | アラーム判定値の上限を設定 | 1000 |
| [14.] アラーム下限値 | 0~1000 | アラーム判定値の下限を設定 | 0 |
| [15.] ゼロ補正指令 | 0 | 使用時 | 0 |
| | 1 | ゼロ補正実行 | |

【仕様】

■一般仕様

| | |
|--------------------|---------------------------|
| 使用周囲温度/湿度 | 0~55°C、10~90%RH(結露なきこと) |
| 保存周囲温度/湿度 | -25~70°C、10~90%RH(結露なきこと) |
| 使用雰囲気 | 腐食性ガスがないこと |
| 使用標高 ^{※1} | 0~2000m |
| 汚染度 ^{※2} | 2以下 |

※1 AnyWireASLINK 機器を標高 0m の大気圧以上に加圧した環境で使用、または保存しないでください。誤動作の原因となります。

※2 その機器が使用される環境における、導電性物質の発生度合を示す指標です。汚染度 2 は、非導電性の汚染しか発生しません。ただし、偶発的な凝結によって一時的な導電が起こりうる環境です。

■伝送仕様

| | |
|--------|--|
| 使用電源電圧 | 電圧 DC24[V]+15~-10%(DC21.6~27.6[V]) リップル0.5[V] _{p-p} max. |
| 伝送方式 | DC電源重畳トータルフレーム・サイクリック方式 |
| 同期方式 | フレーム/ビット同期方式 |
| 伝送手順 | 専用プロトコル |
| 接続形態 | バス形式(マルチドロップ、T分岐、ツリー方式) |
| 接続点数 | 最大512点(IN:256点、OUT:256点) |
| 接続台数 | 最大128台 |
| RAS機能 | 伝送線断線、伝送線短絡、伝送電源低下検知 ID重複、ID未設定 |

■個別仕様

| 占有点数 | 機種 | パラメータ 01(0) | パラメータ 01(100) |
|--------------------|-------------------|-------------|---------------|
| | B284SB-01-1KPP30 | 入力1点 | 入力2点 |
| | B284SB-02-1KPP30 | 入力2点 | 入力3点 |
| | B284SB-01-1KNP30 | 入力1点 | 入力2点 |
| | B284SB-02-1KNP30 | 入力2点 | 入力3点 |
| | B284SB-01-1KLP30 | 入力1点 | 入力2点 |
| | B284SB-02-1KLP30 | 入力2点 | 入力3点 |
| | B284SB-01-1KPLP30 | 入力1点 | 入力2点 |
| | B284SB-02-1KPLP30 | 入力2点 | 入力3点 |
| 応答時間 ^{※3} | 最大10ms | | |
| 消費電流 | 20mA | | |
| 質量 | 25g | | |
| 保護構造 | IP40 | | |
| 耐圧力 | B284SB-01-1KPP30 | 1500 kPa | |
| | B284SB-02-1KPP30 | 1500 kPa | |
| | B284SB-01-1KNP30 | 200 kPa | |
| | B284SB-02-1KNP30 | 200 kPa | |
| | B284SB-01-1KLP30 | 200 kPa | |
| | B284SB-02-1KLP30 | 200 kPa | |
| | B284SB-01-1KPLP30 | 200 kPa | |
| | B284SB-02-1KPLP30 | 200 kPa | |
| 繰返し精度 | ±0.5%F.S. | | |
| 温度特性 | ±2.5%F.S. | | |

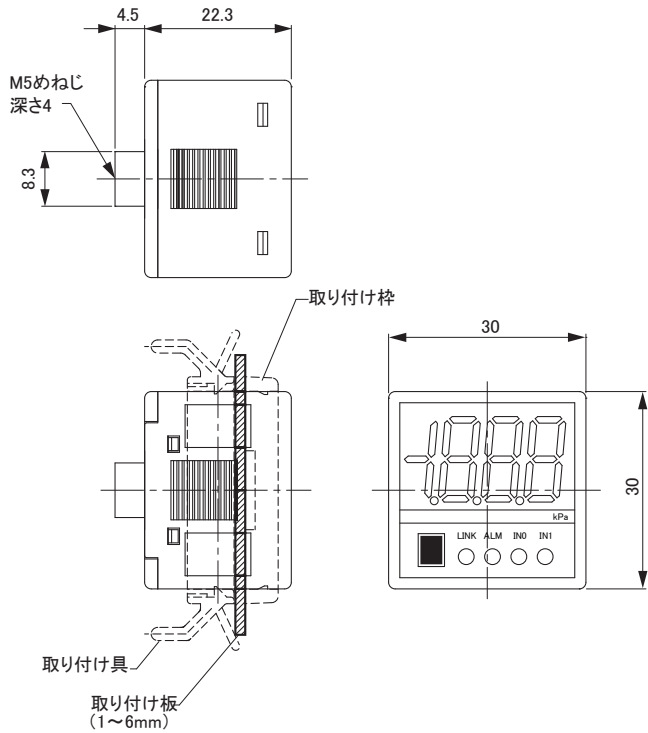
※3 ON または OFF を検出してから伝送信号を送出するまでの時間。
この時間+伝送 2 サイクルタイムの時間が伝送遅れ時間となります。

■センシング仕様

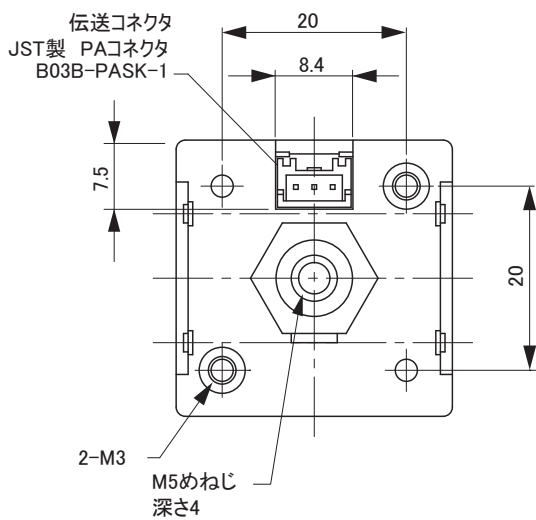
| 機種 | 定格圧力範囲 | 設定圧力範囲 | 管接続口径 |
|-------------------|----------------------|----------------------------|-------|
| B284SB-01-1KPP30 | 正圧 (0~1000kPa) | 0~1000kPa (単位:1kPa) | M5めねじ |
| B284SB-02-1KPP30 | | | |
| B284SB-01-1KNP30 | 負圧 (0~-100kPa) | 0~-100kPa (単位:-0.1kPa) | |
| B284SB-02-1KNP30 | | | |
| B284SB-01-1KLP30 | 連成圧 (-100~100kPa) | -100~100kPa (単位:0.2kPa) | |
| B284SB-02-1KLP30 | | | |
| B284SB-01-1KPLP30 | 低正圧 (0~100kPa) | 0~100kPa (単位:0.1kPa) | |
| B284SB-02-1KPLP30 | | | |

【外形寸法図】

単位：mm



■背面詳細



【中国版RoHS指令】

电子信息产品上所示标记是依据SJ/T11364-2006规定,按照电子信息产品污染控制标识要求制定。本产品的环保使用期限为10年,如果遵守产品说明书中的操作条件使用电子信息产品,不会发生因产品中的有害物质泄漏或突变异常而引发严重的环境污染、人身事故,或损坏财产等情况。

的产品中有害物质的名称及含量

| 部件名称 | 有害物质 | | | | | |
|------|--------|--------|--------|---------------|------------|--------------|
| | 铅 (Pb) | 汞 (Hg) | 镉 (Cd) | 六价铬 [Cr (VI)] | 多溴联苯 (PBB) | 多溴二苯醚 (PBDE) |
| 安装基板 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 框架 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

本表格依据SJ/T11364的规定编制。
 ○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T26572规定的限量要求以下。
 ×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T26572规定的限量要求。



【連絡先】

Anywire 株式会社エニワイヤ


本社：〒617-8550 京都府長岡京市馬場図所 1
 TEL: 075-956-1611(代) / FAX: 075-956-1613

営業所：西日本営業所、東日本営業所、中部営業所、九州営業所

<http://www.anywire.jp/>

お問い合わせ窓口：

■ テクニカル サポートダイヤル

受付時間 9:00~18:00(土日祝除く)
 **075-952-8077**

■ メールでのお問い合わせ info@anywire.jp